



# 自閉立水栓

## 取扱施工説明書

施工前・使用前に必ずお読みください。

お読みになった後は、いつでも見られる所に必ず保管してください。

このたびは、自閉立水栓をお求めいただきまして、まことにありがとうございました。

### 安全上のご注意

施工・使用される前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果(傷害・物損)に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

**注意** 取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか、または、物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

**注意** 気をつけていただきたい「注意」を表します。

**強制** 必ず実行していただく「強制」を表します。

**禁止** してはいけない「禁止」を表します。

### 施工上のご注意

**必ず実行** ●施工する際、必ず軍手などをご使用ください。手などにケガをする恐れがあります。  
●流量調節のため、止水栓(別売品)を取付けてください。流量調節がされていないと漏水・破損の恐れがあります。

**禁止** ●凍結の可能性がある場所には取付けないでください。凍結により器具が破損および故障する恐れがあります。  
●「インパクトドライバー」、「振動ドリル」などの振動を与えて加工する工具は使用しないでください。  
●無理な力をかけて取付穴の穴開けを行わないでください。カウンターが変形または破損する恐れがあります。

**注意** 施工完了後、各器具から漏水がないか確認してください。漏水により家財に損害を与える場合があります。

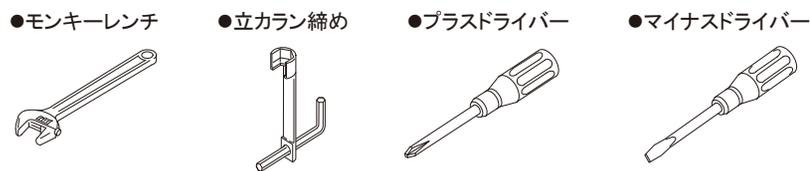
### 使用上のご注意

**注意** 施工直後は、吐水時間や流量が安定しない場合がありますが、故障ではありません。数回(10回程度を目安)のハンドル操作後、吐水時間と流量を調節してください。

### 製品仕様

使用流体	上水道水	使用圧力	0.1~0.75MPa	使用温度	5~45℃
------	------	------	-------------	------	-------

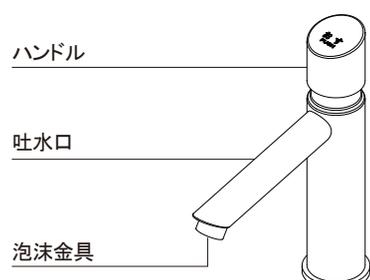
### 施工に必要な工具



### 製品同梱明細・各部のなまえ

716-312

製品同梱明細	
自閉立水栓	○
取扱施工説明書	○
取扱シール	○
保証書	○



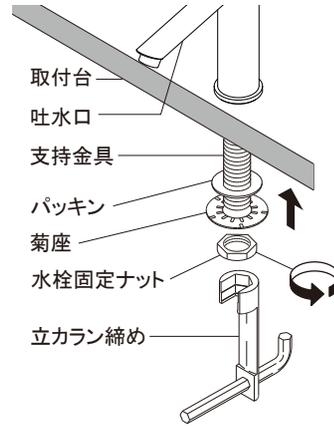
\*上記部材を同梱しています。

### 取付けの前に

\*数秒間水を流し、配管内のゴミなどを洗い流してから、止水栓または元栓を閉めて取付作業を行ってください。

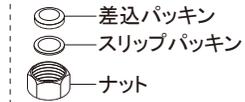
### 取付方法

#### 1. 水栓本体を取付けます。

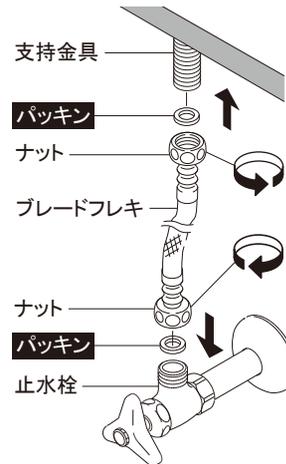


- ①支持金具よりナット・スリップパッキン・差込パッキン・水栓固定ナット・菊座・パッキンを取外します。
- ②吐水口が正面を向くように取付台に差込みます。
- ③パッキン・菊座の順に支持金具に差込み、「立カラン締め」などで水栓固定ナットをしっかりと締付けて固定します。

\*下記部品は、「2.止水栓と接続します。(給水管を使用する場合)」の場合に使用します。



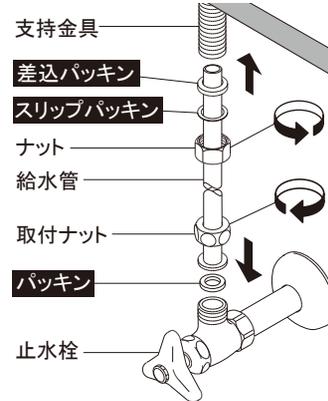
#### 2. 止水栓と接続します。(ブレードフレキを使用する場合)



- ①パッキンをブレードフレキのナットにはめ込みます。  
\*パッキンの入れ忘れにご注意ください。
- ②ブレードフレキのナットにパッキンが入っていることを確認してから、支持金具・止水栓に「レンチ」などでしっかりと締付けて固定します。

**禁止** 止水栓との接続に、フレキパイプなどは絶対に使用しないでください。漏水を起こし、家財などを濡らす恐れがあります。

#### 2. 止水栓と接続します。(給水管を使用する場合)



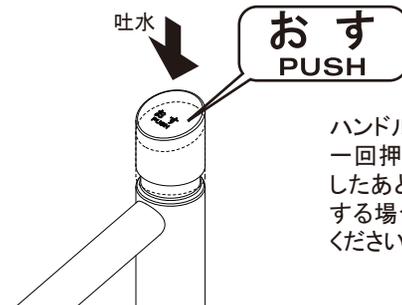
- ①給水管に取付ナットをはめ込みます。
- ②給水管に「1.水栓本体を取付けます。」で取外したナット・スリップパッキン・差込パッキンを順にはめ込みます。  
\*パッキンの入れ忘れにご注意ください。
- ③給水管を支持金具の奥までしっかりと差込み、ナットを「レンチ」などでしっかりと締付けます。
- ④パッキンを取付ナットにはめ込んでから、取付ナットを止水栓に「レンチ」などでしっかりと締付けて固定します。  
\*パッキンの入れ忘れにご注意ください。

### 取付後の点検

- ①止水栓または元栓を開き、各部に漏水がないかを確認します。漏水が発見された場合は、止水栓または元栓を閉め、漏水する箇所を施工し直してください。
- ②ハンドルを押しつづけて連続通水したとき、水はねが少なくなるように止水栓を調節してください。(推奨範囲 5~8L/min)

### 使用方法

#### ●ハンドルの操作方法



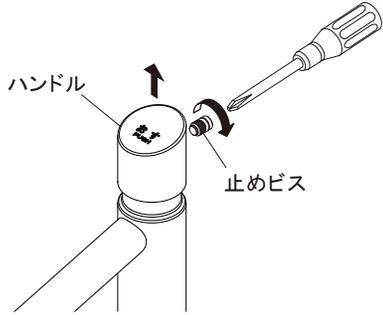
ハンドル上部の「おす・PUSH」の部分を一押しして手を放すと、一定量「吐水」したあと「止水」します。連続して吐水する場合は、ハンドルを押しつづけてください。

**注意** ハンドルはゆっくり操作してください。

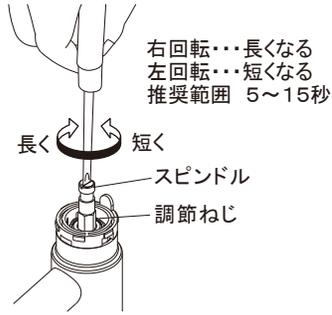
# 使用方法(つづき)

## ●吐水時間の調節

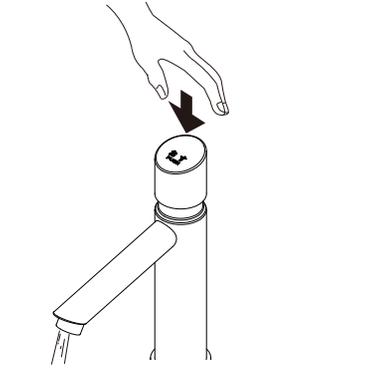
\*調節の前に…  
流量を調節して吐水時間を確認します。



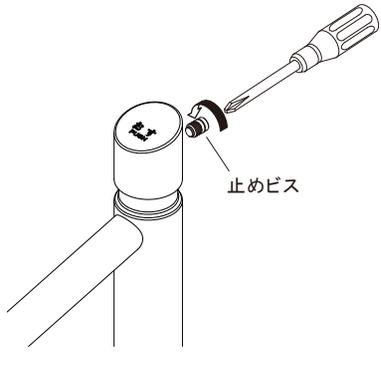
①「プラスドライバー」でハンドル後側にある止めビスをゆるめ、ハンドルを上方向へ抜取ります。



②スピンドルを「マイナスドライバー」で回転させて吐水時間を調節します。  
\*スピンドルを左回転にまわしすぎると調節ねじが脱落することがありますのでまわし過ぎないようにご注意ください。



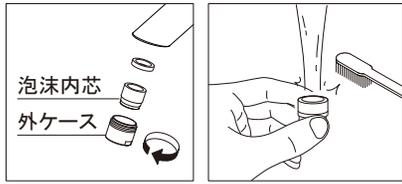
③ハンドルをスピンドルに取付け、ハンドルを押して吐水時間を確認します。



④調節が終わったら止めビスをスピンドルにしっかり止まるまで締付けてください。

# お手入れのしかた

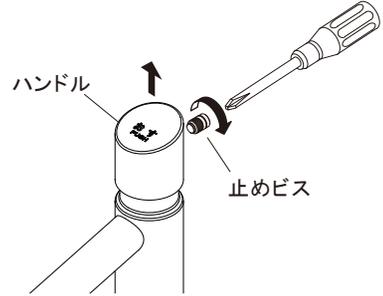
## ●泡沫内芯・ストレーナーのお掃除



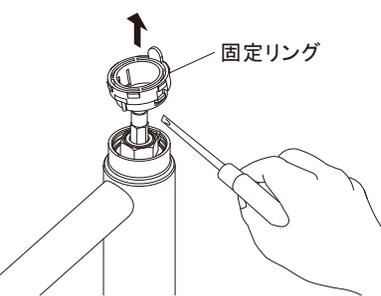
最初ご使用になっていたより著しく水の出が悪くなった場合は、泡沫内芯・ストレーナーを取外して、ゴミなどの異物をブラシなどで水洗いして取除いてください。

### \*ストレーナーの外しかた

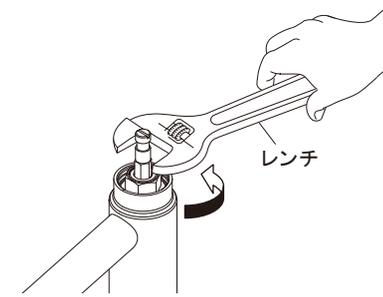
\*お掃除の前に…  
止水栓または元栓を開けて作業を行ってください。



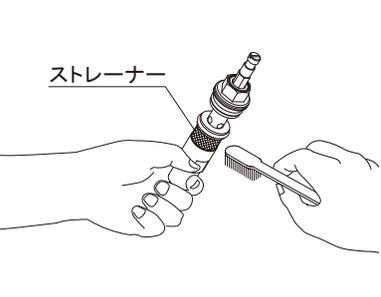
①「プラスドライバー」でハンドル後側にある止めビスをゆるめ、ハンドルを上方向へ抜取ります。



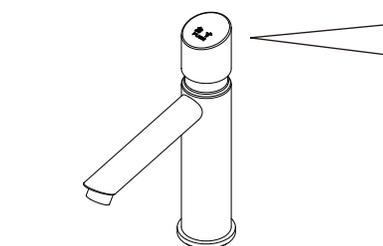
②「マイナスドライバー」などを固定リング下側の切欠き部分に差し込み、固定リングを取外します。



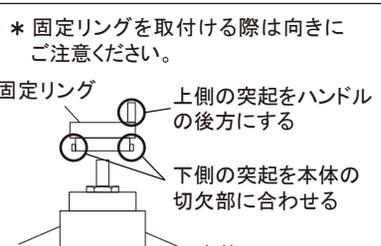
③カートリッジの六角部に「レンチ」などをかけ、左にまわして取外します。



④カートリッジのストレーナー部分に詰まったゴミなどの異物をブラシなどで水洗いします。



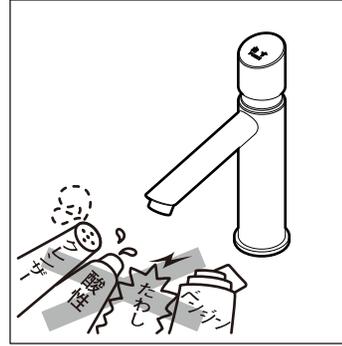
⑤①～④の逆の手順で組直してください。



\*固定リングを取付ける際は向きにご確認ください。  
固定リング  
上側の突起をハンドルの後方にする  
下側の突起を本体の切欠き部に合わせる  
本体

# お手入れのしかた(つづき)

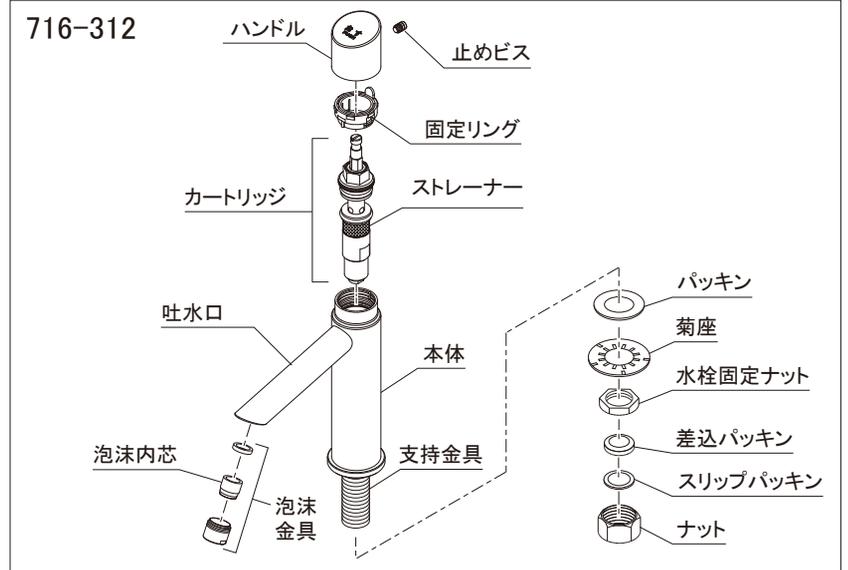
## ●器具のお手入れ



いつまでも美しくご使用いただくために。  
水栓器具の金属部は…  
ふだんは乾いたやわらかい布でみがき、ときどきカーワックスなどをしみこませた布でみがいてください。  
水栓器具のプラスチック部・塗装面は…  
乾いた布を使ってお手入れしてください。汚れがひどい時は、うすめた食器用中性洗剤を含ませた布で拭き、乾いた布で水気を拭取ってください。

⚠注意  
金属たわしやクレンザー・磨き粉など粒子の粗い洗剤・酸性や塩素系の洗剤・ベンジン・油などは、金属表面を傷つけたりプラスチック部・塗装面を傷めますので使用しないでください。

# 分解図



\*品番によっては、図と製品の形状が一部異なります。  
\*製品改良のため、部品仕様などを予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

# こんな時には…簡単な点検と対処

機能が正常に働かない時は、修理を依頼される前に上記分解図を参考に次の要領で点検を行ってください。

現象	原因	対処のしかた	
吐水不良	吐水量が少ない	●止水栓が閉まり過ぎている ●止水水量になるまで止水栓を調節する	
	全く吐水しない	●泡沫内芯が目詰まり ●ストレーナーが目詰まり ●止水栓または元栓が閉まっている	●泡沫内芯のゴミを取除く ●ストレーナーのゴミを取除く ●止水水量になるまで止水栓または元栓を開く
		吐水量が多い	●止水栓が開き過ぎている ●止水水量になるまで止水栓を調節する
止水できない	●ストレーナーが目詰まり ●カートリッジの異常	●ストレーナーのゴミを取除く ●カートリッジを交換する	
	吐水時間が長い	●止水栓が閉まり過ぎている ●泡沫内芯が目詰まり ●吐水時間の調節が適切でない	●止水水量になるまで止水栓を調節する ●泡沫内芯のゴミを取除く ●吐水時間を調節する
吐水時間が短い		●止水栓が開き過ぎている ●吐水時間の調節が適切でない	●止水水量になるまで止水栓を調節する ●吐水時間を調節する
		ハンドルが重い	●止水栓が開き過ぎている

以上の点検を行っても正常に作動しない場合は、お買い上げの販売店(水道工事店)にお問い合わせください。

⚠分解禁止  
本体内蔵のカートリッジや部品などは、絶対に分解しないでください。故障の原因となります。



株式会社 カクダイ  
本社 〒550-0012 大阪市西区立売堀1-4-4 ☎(06)6538-1124  
東京 ☎(03)3552-0981 大阪 ☎(06)6730-3391 札幌 ☎(011)704-1511  
名古屋 ☎(052)504-1551 福岡 ☎(092)611-4611 仙台 ☎(022)239-8371  
広島 ☎(082)278-2821